

陸上競技と先輩

新座市立池田小6年

楠 遥斗 11 (新座市)

僕は、陸上を習っています。習おうと思ったのは、妹の体験入部についていき、その姿を見てほんの少し興味を持ったからです。

陸上を習い始めて1年が経過した頃、リレーの選手に選ばれました。僕よりずっと足が速い先輩から、バトンを受け取ることになりました。先輩との練習で、バトンパスのタイミングや走り方を丁寧に教えてもらえました。

すると、今まで気づかなかった自分の癖を発見。同時に、陸上に対する考え方も変化していきました。これ以降、目標を立てるようになり、それに向かってどのように努力をすれば良いかを考えるようになりました。

陸上競技、そして先輩と出会えたことがきっかけで、自分の生き方に対しての変化が生まれました。